

For more records, click the Records link at page end.

To change the format of selected records, select format and click Display Selected.

To print/save clean copies of selected records from browser click Print/Save Selected.

To have records sent as hardcopy or via mail, click Send Results.

☒ Select All

☒ Clear Selections

Format

Free

1. ☐ 4/5/1

011556195

WPI Acc No: 1997-532676/199749

XRAM Acc No: C97-169950

Cream-form hair colouring lipophilic agent - contains acid dye and modified siloxane copolymer as emulsifier.

Patent Assignee: GOLDSCHMITT JAPAN KK TH (GOLD); KASHII KAGAKU KOGYO KK (KASH-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 002

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
✓ JP 9255540	A	19970930	JP 9693529	A	19960322	199749 B
JP 2805058	B2	19980930	JP 9693529	A	19960322	199844

Priority Applications (No Type Date): JP 9693529 A 19960322

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 9255540	A	5	A61K-007/13	
JP 2805058	B2	5	A61K-007/13	Previous Publ. patent JP 9255540

Abstract (Basic): JP 9255540 A

The agent is of lipophilic type and contains acid dye and modified siloxane copolymer of formula (1) as emulsifier. where a= 5-50; b= 1-15; c= 20-150; X= 3-11; Y= 4-13.

ADVANTAGE - The agent has superior dispersion stability and colouring power of hair and low stimulative property against skin.

Dwg. 0/0

Title Terms: CREAM; FORM; HAIR; COLOUR; LIPOPHILIC; AGENT; CONTAIN; ACID; DYE; MODIFIED; SILOXANE; COPOLYMER; EMULSION

Derwent Class: A26; A96; D21

International Patent Class (Main): A61K-007/13

File Segment: CPI

Derwent WPI (Dialog® File 352): (c) 2002 Derwent Info Ltd. All rights reserved.

☒ Select All

☒ Clear Selections

Format

Free

© 2002 The Dialog Corporation plc

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-255540

(43) 公開日 平成9年(1997)9月30日

(51) Int.Cl.⁴

A 6 1 K 7/13

識別記号

庁内整理番号

F I

A 6 1 K 7/13

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-93529

(22) 出願日 平成8年(1996)3月22日

(71) 出願人 596052223

香椎化学工業株式会社

大阪府大阪市城東区成育2丁目14番24号

(71) 出願人 594084859

テー・ゴールドシュミット・ジャパン株式会社

東京都千代田区麹町5-7-1113

(72) 発明者 原田守男

大阪府大阪市城東区成育2丁目14番24号

香椎化学工業株式会社内

(72) 発明者 田中 稔

大阪府大阪市城東区成育2丁目14番24号

香椎化学工業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 山田 豊

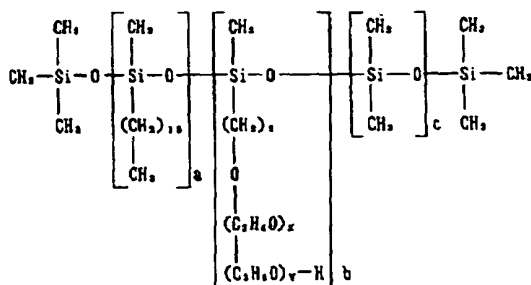
(54) 【発明の名称】 クリーム状染毛剤

(57) 【要約】

【課題】 頭皮には染まりにくく、しかも染毛力、安定性が優れ、低刺激性のクリーム状染毛剤を提供する。

【解決手段】 酸性染料を含む親油性のクリーム状染毛剤で、下記の一般式：

【化1】



上式にて、a: 5~50 b: 1~15 c: 20~150

X: 3~11 Y: 4~13

で表される変性シロキサン共重合体を乳化剤として含む。このような変性シロキサン共重合体のうち、特に好ましいものは、ジメチルシロキサン・メチルセチルシロ

キサン・メチル（ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン）シロキサン共重合体（56 E. O.）（68 P. O.）である。本発明では、油相部の含有率が15~25%で、水相部の含有率が75~85%であり、水相部にはベンジルアルコールが含まれ、前記変性シロキサン共重合体の配合割合は、染毛剤全体の1.5~2.5重量%であることが好ましい。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明のクリーム状染毛剤において乳化剤として含有される変性シロキサン共重合体は、上述の一般式で表されるジメチルシロキサン・メチルセチルシロキサン・メチル（ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン）シロキサン共重合体（CTFA名：Cetyl Dimethicone copolyol）であり、市販品が利用できる。前記一般式の変性シロキサン共重合体のうち、特に好ましいものは、ジメチルシロキサン・メチルセチルシロキサン・メチル（ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン）シロキサン共重合体（56E. O.）（68P. O.）で、例えば、ABILEM-90（ゴールドシュミット社製商品名）等が挙げられる。上記一般式におけるa、b、c、X及びYの数値範囲は特に重要であり、本発明において規定される各数値を有しない変性シロキサン共重合体の場合には、良好な乳化性が得られない。

【0008】前記一般式で表される変性シロキサン共重合体は、高い乳化安定力を有しており、少量の添加で染毛剤に優れた粘性を付与し、毛髪へのなじみが良く、心地よい塗布感をもたらす。この変性シロキサン共重合体の配合割合は、染毛剤全体の1.5～2.5重量%であることが好ましく、1.5重量%よりも極端に配合割合が小さい場合には乳化力が不足し、逆に2.5重量%よりも極端に配合割合が大きい場合には、粘度が大きくなり過ぎて心地よい塗布感が得られない。

【0009】本発明のクリーム状染毛剤における油相部（油分）は、染毛剤全体の15～25%を占めており、通常の化粧品、特に化粧用クリームの製造において油相として使用される原料から構成されている。このような油性原料の具体例としては、蜜蝋、流動パラフィン、スクワラン、パラフィンワックス、脂肪酸エステル等が挙げられる。一方、水相部（水分）は、染毛剤全体の75～85%を占めており、この水相部には、水以外に染色助剤としてベンジルアルコールが含まれ、ベンジルアルコールの配合割合は3～6%程度が好ましい。又、本発明の染毛剤は、毛髪を染色するための染料として酸性染料を含み、この酸性染料の配合割合としては0.2～1%程度が好ましい。この際、本発明の染毛剤に添加可能な酸性染料は、化粧品の着色に使用することが許可されているものが種々利用でき、酸性染料を適宜選択することによって、毛髪を所望の色に染色することが可能である。更に、添加剤としてポリペプチド等の通常の添加剤を含有しても良い。

【0010】本発明のクリーム状染毛剤は、このような乳化剤の作用によって、頭皮に染毛剤が付着したままで加温しても、より強く頭皮が染着されず、しかも、頭皮に付着した染毛剤については、市販のシャンプー剤や石鹸を用いて洗浄することによって、ほぼ完全に除去することができる。本発明の染色剤を用いて毛髪を染色する

のに要する時間については、水性の染毛剤を使用する場合に比べて長くなり、常温で約1時間程度、加温（50℃）で約20分程度で毛髪を均一に染色することが可能である。

【0011】尚、本発明の染毛剤は油性であるために外気に触れても乾燥しにくく、よって、キャップなしでも加熱可能であり、取扱易いという利点がある。更に、本発明の染毛剤は油性であるために、濡れた状態の毛髪に対しても乾いた状態の毛髪に対しても付着し易く、重ね染めが可能であり、段階的に色に変化を持たせた多色染を行うことができ、例えば黄／赤／黒等の多色染が可能である。又、本発明の染毛剤は、アクセサリ的な毛染めを容易に実施するのに適している。

【0012】本発明のクリーム状染毛剤を製造する際には、まず、染毛剤において通常使用されるワックス類、エステル類、その他の油剤等に、前記一般式の変性シロキサン共重合体を添加して加熱溶解し、得られた溶液を50～55℃程度の温度にまで冷却した後、酸性染料、ベンジルアルコール等の染色助剤類と、精製水の水相部を添加し、攪拌混合して、乳化を行う。この際、本発明で規定される乳化剤以外のものを使用すると、高温で乳化することが必要となるだけでなく、水相部が60%以上ではクリーム状の油中水型乳化物を安定して得ることができないという問題が生じる。又、油相部の割合が大きい場合には、染色しにくく、高温で乳化することは好ましくないという問題点も生じる。

【0013】尚、本発明のクリーム状染毛剤を製造する場合には、油相部に水相部を添加して乳化を行う際、充分な均質化が必要であるが、過度な乳化は避けなければならず、過剰乳化によって二次的構造が形成された場合には、経時安定性が悪い製品となる。このような問題を避けるために、上記の乳化を行う際には、化粧品の製造において多用されている乳化機を使用する。以下、本発明を更に具体的に示すために実施例及び使用例を示す。

【0014】

【実施例】

実施例1：本発明のクリーム状染毛剤の調製例

メチルパラベン0.2重量部、プロピルパラベン0.1重量部、パルミチン酸イソプロピル3.0重量部、イソオクタン酸セチル3.0重量部、流動パラフィン7重量部、スクワラン3.0重量部、変性シロキサン共重合体（ゴールドシュミット社製のABILEM-90）2.0重量部、パラフィンワックス3.0重量部、密蝋0.5重量部を80℃まで加熱融解した後、55～50℃まで冷却し、この混合物にベンジルアルコール5重量部、N-メチル-2-ピロリドン4重量部、塩化ナトリウム0.5重量部、クエン酸2重量部、酸性染料0.5重量部、95%エチルアルコール7.0重量部、精製水59.2重量部を50℃まで加熱溶解したものを添加して、均一に乳化して本発明のクリーム状染毛剤(I)を得

又、本発明の染毛剤は油性であるために、毛髪へのなじみが良く、少ない塗布量で毛髪を均一に染色することが

でき、重ね染めが可能であるので、多色染にも適している。